

令和4年 10月 7日 (金)

あさひの日だまり

NO.22

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～音楽会の練習頑張っています～

練習の様子を見に来てください



今月の19日(水)が音楽会です。あと2週間ほどになりました。校内に歌声が響いています。職員室の上に集会室があるので、どこかのクラスが練習していると下までその様子が聞こえてきます。階段を上って部屋の中を覗いてみると、上の写真の左のようにクラスで練習をしていました。すごいですね、担任の先生がピアノを弾いていました。ピアノを囲んで一生懸命歌っていました。嬉しそうに歌っている人、真剣な表情で歌っている人、それぞれの立ち姿で歌っていました。右の写真はステージ練習の様子です。指揮をする担任の先生の指導にも熱が入っていました。

先日、練習しているあるクラスの児童に「歌を歌うことが楽しい人？」と聞いてみました。ほとんどの児童が嬉しそうな顔をして思いっきり「ハイ」と手をあげてくれました。嬉しくなって「それが一番！」と思わず声を掛けました。こうやってみんなで「歌うことって楽しい！」という思い出を作ってくれたら、一生歌うことを楽しめる人になるように思われて、本当にいい時間を過ごしてくれているなと思いました。

そうはいっても、全校児童の中には、歌うことや演奏することが苦手な児童もいるはずです。「みんなに迷惑はかけられないから・・・」と頑張っているのでしょう。早くステージで発表したいと楽しみにしている児童、ステージに立つことに不安を感じている児童、色々な思いを胸に抱えながらステージに立つわけですが、一人ひとりかけがえのない存在としてかけがえのない音を表現します。どの児童も、歌い終わった瞬間に、演奏し終わった瞬間に「自分なりにやり切った！」と満足感を感じられる音楽会になって欲しいなと思っています。

児童のご家族の皆様をお願いいたします。本年度も感染防止のため、音楽会へのご来校をご遠慮いただくこととしました。お子様の頑張りを直接目にしながら応援したいという思いでおられると思います。そのお気持ちにこたえられないことをお詫びいたします。子どもたちは毎日一生懸命練習しています。その成果を見ていただけないことが心苦しいです。どうぞ、各ご家庭で、「見に行かれないけど応援しているからね」と声がけいただけたら子どもたちも喜ぶと思います。なにとぞよろしくお願いいたします。

13日(木)と14日(金)にステージ練習の様子を見ていただく機会を設けました。ご多用の中ではありますが、ご都合をつけてご来校いただけたら幸いです。13日が平出地区、14日が赤羽・沢底・樋口地区です。コールドと金管のステージ練習も行われます。

時間割は右のようになっています。

日	時間	朝	1校時	2校時	20分 休み	3校時	4校時	15分 学習	5校時	6校時
13日 (木)	特支	2年	4年	コールド	1年	3年	金管	5年	6年	
14日 (金)	特支	4年	2年	金管	6年	1年	コールド	3年	5年	

～来入児検診と保護者説明会が行われました～

新1年生との生活が楽しみです

5日（水）の午後來入児検診と新入生保護者説明会が行われました。私にとって、来入児検診は初めての経験でした。来年度入学する小学校に、園児が勢ぞろいして検診を受けるのですね。「この子たちが来年入学してくるんだな」と思いながら子どもたちの様子を眺めていました。

在校生の様子を見ていると、1年生と2年生、そして3年生へと、学年がひとつ違うだけで成長の様子はずいぶん違います。子どもたちと話をしたり、学習の様子を見たりしていると明らかにその違いを感じます。目の前の園児たちが入学してくるころには、今の在校生も一段階ずつ成長していくのですね。

元気な顔で桜の花の下を歩いてくる新1年生との出会いが今から楽しみです。

この日に、保護者の皆様へのお話をする機会がありました。お話させていただいたことを載せさせていただきます。

新入生44名（35名を超えておりますので2クラスになる予定です）の皆さんが、来年度元気に入学してきてくれることを今から心待ちにしております。

昨年度の新入生は、現在1年生として、みんな、おおらかに、元気に学校生活を送っています。現在の1年生は34名。多様で素敵な面を持った子どもたちです。

朝、登校に不安を感じ母さんと手をつなぎながら昇降口をぐるお子さんもいます。そのお子さんと休み時間に廊下で顔を合わすと、友だちと笑顔いっぱい手を振ってくれます。

〇〇さんと〇〇さんが私のことを相手にしてくれないの、校長先生遊ば。と言って校長室を訪ねてくれるお子さん。次の時間に教室を訪ねるとそのお子さんは友達と楽しそうに授業を受けています。

思い通りにいかないことがあると、我慢することができずについつい口や手が出てしまうお子さんもいます。目を見るととても澄んだ、素直な目をしています。やがて、友だちを大切にできる優しい子になっていく目です。

先生や友だちが、伝えたいことがあってお話をしている間に、自分の興味のあることに心が吸い寄せられて意識がそれてしまったり、ボーとして集中が切れてしまったりするお子さんもいます。「〇〇さん」と先生に声をかけられると、「ハッとして我に返っています。」私も落ち着きがないいつも通知表に書かれていましたので、そんな注意されている様子を見ると、微笑ましくなります。私は、授業中によくイスから落ちてみんなにあきられていました。その落ち着きのなさは今でも直っていませんが、今、日常生活を送るうえで困ることはそんなにありません。ご自分のお子さんのことを、集中力がないと心配されている保護者の方もいると思いますが必要はありません。

子どもたちは実に多様です。それは当然なこと、とても大切なことなんです。色々な性格や気性、ものの考え方をを持った仲間と一緒に暮らすなかで、自分とは違った部分を持ち合わせている仲間を、異質なものという捉えではなく、新しいものを互いに学び取ることができるかけがえのない仲間として見ていかれるようになります。

ただし、一つご理解いただきたいことがあります。多様な子どもたちが一緒に生活していると、必ずトラブルが起きます。私はそういうときこそ子どもが伸びるチャンスだと思っています。大切なのは「今どう思っているの」「自分はどうしたいの」「この先どうするの」と子どもに問いかけ、子どもが自分で考えられるように促してあげることだと思っています。先生方にも日ごろから子どもたちにそういう心持で接してくださいとお願いしています。子どもの「自律」を促したいのです。

こういう方法で子どもと向き合っていくと、場合によっては、トラブルの解決に少し時間がかかってしまうかもしれません。しかし、私たち辰野東小学校の職員は、決してトラブルをうやむやなままにして済ませたり、悲しい思いをしている子どもをそのままにしたりは致しません。責任をもって子供と向き合っています。

もし心配なこと、相談したいことがありましたら、どうぞ遠慮なさらずに学校へご連絡ください。保護者の皆様がお子様にかける思いには到底及びませんが、できる限り保護者の皆様の思いに寄り添って、お子様のためにどうすることがよい道か一緒に考えてまいります。よろしく願いいたします。本日は本当にありがとうございました。



手をつなぎながら、検診を回っている様子が微笑ましいです